



百十四銀行



百十四銀行さんは、「地域社会への貢献」と「健全経営」の経営理念のもと、百有余年にわたりゆるぐことなく続いてきた伝統ある銀行です。

今回は、白鳥支店兼引田支店長 河渕崇氏に脱炭素社会へ向けた取り組みについて伺いました。

①現在の取り組みについて教えてください。

脱炭素社会実現に向けた取り組みとして、自行の CO2 排出量長期削減目標を設定し、省エネ・創エネ施策等の実践により目標達成に取り組んでいます。

具体的な取り組み事例として、店舗の LED 化や空調設備の更新等のほか、さぬき市津田に設置した太陽光発電設備で発電した電力全量を自己活用（2023 年 3 月）する取り組みや、高松市にある木太支店に近隣店舗を集約して「高松東営業部」として新築移転するとともに同店舗では「ZEB」認定を取得（2023 年 11 月）する取り組み等を行っています。



※さぬき市津田に設置した太陽光発電設備

②取り組みのきっかけについて教えてください。

当行は経営理念に「お客さま・地域社会との共存共栄」を掲げて、持続可能な地域社会の実現に向けて取り組んでまいりましたが、2019 年 5 月の「百十四銀行 SDGs 宣言」以降、特に環境課題への対応を明確化するための方針整備として、「百十四銀行 環境方針（2020 年 4 月）」、「環境及び社会に配慮した投融資方針（2020 年 12 月）」を制定しました。

更に気候変動等、環境課題への取り組みを重要課題（マテリアリティ）と捉え「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）への賛同を表明（2021 年 10 月）」しています。

③取り組みの影響や効果などはどうでしたか。

脱炭素に向けた意識の浸透とともに、プラスチック製クリアファイルの「紙製ファイル」への切り替え（2022 年 12 月）、100% バイオマス原料を使用したエコごみ袋の導入（2023 年 8 月）等、脱炭素や環境保全に繋がる取り組みが行内でも広がってきました。

また、「百十四の森」における 10 年以上に亘る継続的な森林保全活動が認められ、林野庁「グリーンパートナー2023」に認定（2023 年 8 月）されています。



※紙製のクリアファイル

④今後の予定について教えてください。

これまで東かがわ市湊で営業してきた白鳥支店を建替え、三本松支店、白鳥支店及び引田支店を新店舗に移転集約し、2025 年 1 月から「東かがわ営業部」という名称（呼称）での営業を予定しています。



※東かがわ営業部（呼称）の完成イメージパース

この新店舗には、地元企業さまに販売イベントや試験販売等の場として活用いただけるコラボスペースを設けるなど、地域の皆さまとのつながりを深め、にぎわいを創出する機能を持たせるとともに、2050 カーボンニュートラルに向けた脱炭素・循環型社会への取り組みとして、省エネルギー・創

エネルギーによる ZEB 認定をめざしていく予定としています。

⑤これから、取り組みをしようと思っている事業者へのアドバイスなどがありますか。

脱炭素への取り組みを活性化させるためには、一人ひとりに至るまでの意識醸成・浸透が不可欠です。当行内でも環境保全を意識したごみ拾いイベント、脱炭素・省エネを意識したクールビズ/ウォームビズやエアコンの温度設定、サーキュラーエコノミーを意識した事務機器リユース等への取り組みが着実に広がっています。

また企業経営の視点からも、脱炭素に向けた取り組みは、温室効果ガス排出量の削減にとどまらず、持続可能な社会づくりに貢献する企業として、取り組みそのものが企業価値向上に繋がります。



※環境保全を意識したごみ拾いイベント

当行では、持続可能な社会をめざし、お客様の CO2 排出量診断及び削減に向けたロードマップ策定などのご支援や SDGs への取り組みをご支援する多様なソリューションメニューをご用意しておりますので、お困りの際は、東かがわ市内にあるお近くの営業店までお気軽にご相談ください。

Interview



河渕 崇（こうぶち たかし）さん

百十四銀行
白鳥支店兼引田支店長

所在地

百十四銀行 白鳥支店兼引田支店
〒769-2705 東かがわ市三本松 680
番地 22
（現在は三本松支店内に移転中）